

e-ビーフNEWS 北の牧場から

May 2021

十勝のお日様が出るのが早い

朝4時明るくなるや小鳥のさえずりで起こされます。日の出が加速的に早まっている気がします。気温は朝ひとけた台、日中は20℃と寒暖差が大きいです。まだ、雪まじりのみぞれも降ります。それでもみどりは着々と増え、花々が咲き急いでいます。つつじ、スイセン、10日早い桜(帯広はエゾヤマザクラですが)全国的に早い桜開花は北海道も同じく上がってきています。木々のつばみから淡い緑茶の若葉が始まっています。十勝の風景を代表する防風林のカラマツの松かさの間から小さな新芽がのぞいています。残雪の残る日高の山々の稜線も青くクッキリしてきました。

牧場の牛たちは、やっと乾いた外のパドックに寝そべり呼んでもなかなか戻ってきません。水の抜けた地べたがベッドのように気持ちが良いのか、四肢をうーんと伸ばしたり、首を中に入れて寝込んでいます。ちょっとやばいかな(病気や横臥で)・・・声をかけると「なにごと?」素振りです。

十勝もコロナ禍で絶えた街中は、往来も消えひっそり。それでも地方は地方なりに日常生活はしっかりという感じです。



活動のお知らせ

6/5(土) 15:00~17:30 とかちプラザ3F 306室 環境リサイクル肉牛協議会第22回総会(特定非営利活動法人第13回通常総会) および肉牛飼養技術研修会(ZOOMミーティング参加も可能)

1) 第22回定期総会(15:00~15:50)

(1) 2020年度事業報告・決算報告 (2) 2021年度事業計画(案)・予算(案) (3) 役員改選その他

2) 肉牛飼養技術研修会(16:00~17:30)

・e-びーふ牧場(北の牧場舎)の飼養・肉質分析・・・日本獣医生命科学大学 動物栄養学教室 柴田昌宏教授

・シンポジウムテーマについて

10/28(木) 北海道肉専用種枝肉共励会 環境循環型肉牛生産シンポジウム

NEWSばか読み

- 消費税 4/1から総額表示スタート4/1:実際払うお金は高いね
- 政府 食育基本計画策定 産地で食を選ぶ人8割目標4/1:責任感じるな
- TPP、EPA等貿易協定の新年度、関税率下げ4/1:ジワリ
- 2月農産物輸出が11%増 牛肉、果実が家庭需要で好調
4/2:海外需要堅調
- 20年度ふるさと納税 自治体7割が寄付増 応援消費拡がる
4/2:これも需要
- 熊本あか牛素牛相場 昨対3割高 赤身人気と頭数減で不足感
4/3:高すぎても
- 国連 アフリカ中心で飢餓急増の恐れ
4/3:コロナ禍で影響が弱いところに
- 兵庫県 不耕地農地解消で所有者に代わり県で管理4/6:行政の出番
- 2月家庭消費でコメの支出額11%減 過去20年で最低 パック米飯は好調4/7:需要変化
- 緊急事態宣言1年 牛肉の価格V字回復 支援事業奏功
4/7:実需内容との格差
- 20年牛肉の輸入量6%減 豪州産減産 コロナ影響4/8:
- 農林水産省 飼料米支援の産地交付金「県枠」を拡大4/9:
- 21年度加工原料乳補給金 87業者341万t交付4/9:
- 厚労省 コロナ解雇10万人超え 製造・飲食で拡大4/9:深刻度増す
- 出生率 世界で急減 日米欧1~2割減4/10:後で影響大
- 群馬県 子牛セリ市場でゲノム育種価を表記4/10:セリ価格根拠
- 3月外食売上高 コロナ打撃長期化 ファーストフード好調4/13慢性化

- 農地価格20年度調査 下落止まらず25年前から40%下落4/13:
- 政府 福島原発処理水の海洋放出を容認
4/14:原発最後まで処理できず
- ANA ドローン配達を22年開始4/15:操縦技術生かして
- 農林水産省 GI商品のEPA輸出手続きの簡素化
4/16:ほかの国際認証品も
- 道内製粉業者3社で道内産小麦の共同倉庫開設 安定供給化に4/17:
- コロナ禍の世界の富裕層 株高で高級品を爆買い4/18:
- 20年度生乳2年連続で増産700万t回復 都府県も8年ぶりに回復
乳用メス牛増加、粗飼料の安定4/19:需給バランス
- 家畜改良センター 豚枝肉の脂質即判定を実用化4/20:牛の可能性も
- 3月コンビニ販売 13ヶ月ぶりに増加に4/21:ちょっとの変化
- 国会 畜舎建設特例を可決 低コスト化に
4/22:どこまでまだ規制のうち
- 4都府県 緊急事態宣言再び4/24:どこまで~
- 気候サミット パリ協定修復4/24:やっと土俵に戻る
- 家畜改良事業団 牛群検定活用法を動画で公開
4/27:もっと進んでよ
- SG発効後の米国産輸入牛肉26%減4/27:要因様々
- 農林水産省 18年食品ロス発生2%減の600万t
4/28:生産したお米の量だけ捨てています
- 農林水産省 20年農業就業者160万人 5年前から48万人減4/28:
- 北里大学 家畜熱ストレス予報サービス「ちくさん天気」運用開始
4/28:
- F1枝肉相場上昇 過去5年間で最高 米国産牛肉調達不安から
4/30:輸入が主体

東京直近NEWS (4/29 Shi-REPORT)

ホルス

枝相場は上げ基調にて推移。

5月相場も強気な予測。

全般頭数が少なく、輸入アイテムも出回り少ないことから定期注文は一定維持。問合せ関係も増得てきている。

特に焼き材不足からバラ関係の引き合いが強く、次いで赤身や切落し関係。上位部位のロインは不調続き。

販売としては決して動きが活発になっている訳ではなく輸入アイテムの不足から代替的要素が強いと感じる。

経産牛

相場は横ばい状況で天井の状況。

GW明け以降集荷頭数は減少時期に入り、今後の需給バランスに影響懸念。

輸入ビーフの影響から、外食加工向けのバラ関係が不足状況により代替え需要での問い合わせが非常に多い。

今後緊急事態宣言の日程延長や地域拡大等でどのような影響出るか読めない。

挽き材は一定数維持も、一時と比較すると落ち着いてきている。

日畜会報Vol.92;1.2021

(総説)食品成分による骨格筋の特性変化に関する研究(小宮啓介、北里大)

先月に届いた日畜会報の総説の続編です。食肉の骨格筋はテクスチャーの改善、機能成分の増加、呈味性の向上などから筋繊維のうち速筋(type2B)よりも遅筋型(type1)が重視され、遅筋タイプの増加は運動トレーニングによってのみ可能とされてきました。しかしながらオレイン酸を給与したマウスの遅筋マーカーが増加するなど、オレイン酸が持つPPAR δ のアゴニストとしての脂質代謝亢進とは別にMyHC1(ミオシン重鎖1)の発現に関与している可能性が示され、他の食品成分魚油やヤマブシタケなどにも遅筋マーカーの増加など骨格筋特性を変化させるものがあることが明らかになり、このことから著者が目論む食品の運動模倣効果による骨格筋特性の栄養学的制御の可能性が示されました。

畜産技術790号(2021.3)

(研究レポート2)畜産環境分野に於けるSDGsに関する取り組み(高柳晃治、栃木県)

SDGs(持続可能な開発目標)は2015年国連で採択された国際目標です。わが国の官公庁も対応が求められ、農林水産からの温室効果ガス(GHG)排出割合では大きくはないものの畜産分野で知られている牛の暖気由来のメタンが地球温暖化を促進し、家畜生産段階で広く発生する温室効果ガス(GHG)の抑制型の牛肉生産体系の確立が求められています。8頭の

ホルスタイン去勢牛に低CP(2ポイント)配合飼料を給与し、肥育成績と堆肥化時のGHG削減効果を検討しました。試験区と対照区の肥育成績には有意差はなく、堆肥化時のGHGであるN₂Oは大幅な削減が可能と思われました。この他に配合飼料の編アミノ酸バランスを調整して尿中N排出削減で污水处理時のGHG低減の効果が知られています。

新書紹介:「新しい世界-世界の賢人16人が語る未来」フリーエ・ジャポン編 講談社現代新書(2021.3:6刷,¥900)

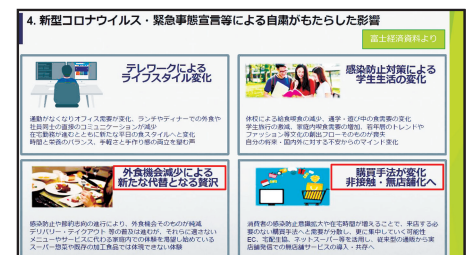
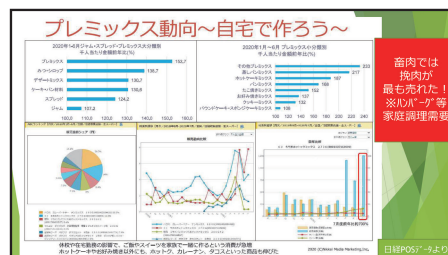
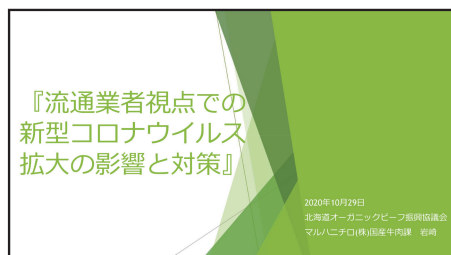
2020年初めから世界中で猛威をふるったCovid19,新型コロナウイルスでEU各国はロックダウン(都市封鎖)措置を取り、医療体制の崩壊、経済状況の悪化も拡大し、EUのみならず地球全土は新型コロナウイルスの猛威で世界中がパニックに陥りました。人々が人類共通の問題に対峙したことはコロナ後のニューノーマルの時代に対する光明のひとつかも知れません。本書は「21世紀の賢人とされる人々16人」の専門分野からの分析と「世界のこれから」を論じたものです。

資源循環型肉牛生産シンポジウム 2020

話題提供2.「流通業者視点での新型コロナウイルス拡大の影響と対策」

全4回シリーズ③

マルハニチロ(株)国産牛肉課 岩崎課長代理



転載・再利用は固くお断りします